

土 質 柱 状 図

調査名 千葉市立宮崎小学校地質調査委託

標 高 仮BM±0.0^m

調査期間 昭和52年4月19日 ~4月21日

試 錐 No. 1

水 位 GL-2.10m

調 査 員

標尺	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	土質名	色調	観察事項	相対密度	相対稠度	資料番号	標準貫入試験							土質試験試料							
											試験深度	N値回/cm	10cm毎の打撃回数			N値									
													10	20	30	0 10 20 30 40 50 回									
1	-1.50	1.50	1.50	X	表土	暗褐	上部0.70m付近までコンクリート片礫混入する。				1.15 ~1.47	2/32	1/17	1/15											
2				rrr			2.00m付近スポンジ状である。3.00m付近臭気を帯びる非常に軟かい。				2.15 ~2.46	1/31	1/31												
3	-3.60	3.60	2.10	rrr	腐植土	黒褐					3.15 ~3.47	0/32	0/32												
4				r			4.00m付近まで腐植物多し。上部6.00m付近まで細砂少量混入する。				4.15 ~4.46	0/31	0/31	"	"										
5							非常に軟かい。				5.15 ~5.48	0/33	0/33	"	"										
6							腐植物と少量混入する				6.15 ~6.47	0/32	0/32	"	"										
7							非常に軟かい。				7.15 ~7.49	0/34	0/34	"	"										
8							腐植物と少量混入する				8.15 ~8.66	0/51	0/51	"	"										
9							非常に軟かい。				9.15 ~9.70	0/55	0/55	"	"										
10							11.00m付近に細砂少量混入する。				10.15 ~10.68	0/33	0/33	"	"										
11	-11.70	11.70	9.10		シルト	暗灰					11.15 ~11.57	0/42	0/42	"	"										
12							全般的にシルト多量に混入する。				12.15 ~12.46	2/31	1/17	1/14											
13	-13.60	13.60	1.90		シルト混り細砂	暗灰					13.15 ~13.45	4/30	1	1	2										
14	-14.60	14.60	1.00		細砂混りシルト	暗灰	全般的に細砂多し。腐植物と混入				14.15 ~14.46	1/31	1/31												
15							15.00m全般的に粘土分少量混入する。				15.15 ~15.45	17/30	3	5	9										
16							雲母片混入する。				16.15 ~16.45	26/30	9	9	9										
17							17.00m付近粘土と薄層にて接む				17.15 ~17.45	28/30	8	9	11										
18							雲母片と混入				18.15 ~18.45	19/30	4	6	9										
19							19.00m付近粒度均一				19.15 ~19.45	35/30	8	13	14										
20							20.00m付近非常に密に締っている。				20.15 ~20.43	50/28	11	15	24/18										
21							21.00m粒度均一にて非常に密に締っている。				21.15 ~21.34	50/19	19	31/9											
22	-21.90	21.90	7.30		細砂	茶灰					22.15 ~22.45	45/30	12	16	17										
23							22.00m粒度不均一				23.15 ~23.45	38/30	12	12	14										
24							23.00m小礫点在る。45~7% 24.00m付近に暗褐色と呈する貝殻片多量混入する。				24.15 ~24.44	50/29	12	15	23/19										
25							25.00m付近貝殻片非常に多量混入して非常に密に締っている。				25.15 ~25.28	50/13	37	13/3											
26	-26.00	26.00	4.10		中砂	暗褐					26.15 ~26.26	50/11	43	7/1											
27							26.00m貝殻片少量混入する				27.15 ~27.29	50/13	37	13/3											
28							27.00m付近粒子均一にて極密である				28.15 ~28.26	50/11	45	5/1											
29							28.00m付近に暗褐色と呈する貝殻片を含む。				29.15 ~29.27	50/12	42	8/2											
30	-30.26	30.26	4.26		細砂	暗茶褐	粒度均一にて非常に密に締っている。				30.15 ~30.26	50/11	43	7/1											

備考

土 質 柱 状 図

調査名 千葉市立宮崎小学校地質調査委託

標 高 仮BM-0.30m

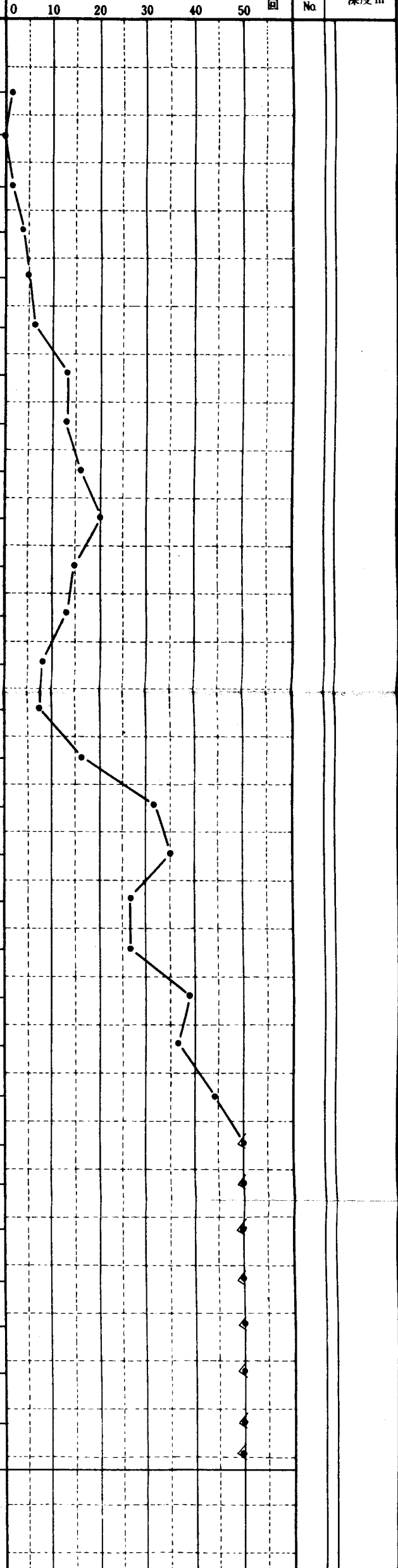
調査期間 昭和 52年 4月21日 ~4月23日

試錐 No. 2

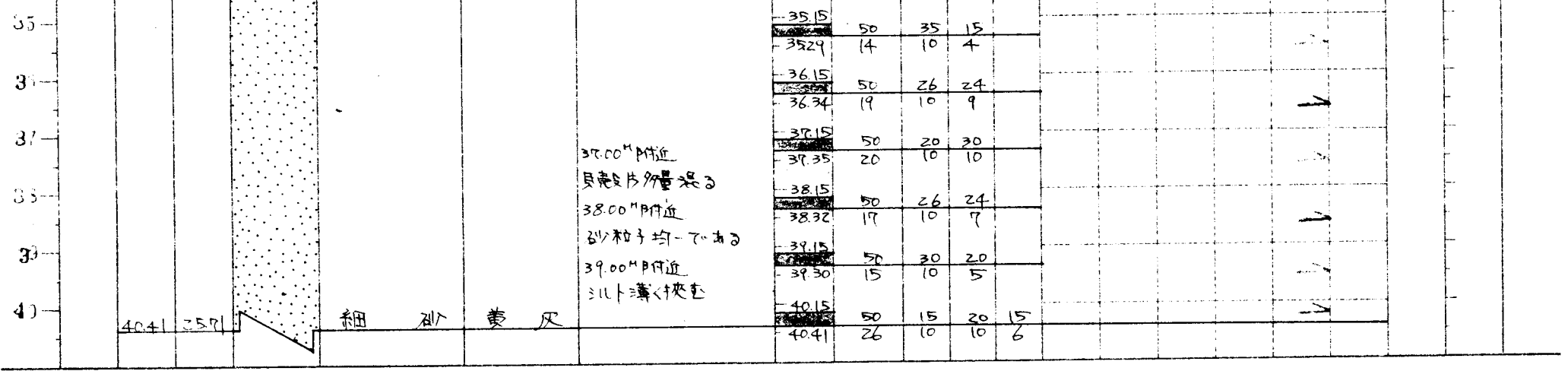
水 位 G.L.-2.10m

調査員

標 尺	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	土 質 名	色 調	観 察 事 項	相 対 密 度	相 対 稠 度	資 料 番 号	標準貫入試験						土質試験試料					
											試 験 深 度	N 値 回/cm	10cm毎の打撃回数			N 値			試 料 No.	採 取 深 度 m		
													10 回	20 回	30 回	0	10	20			30	40
1	-1.00	0.70	0.70	X	表土茶褐		砂を埋設土、礫混入する。				1.15 ~1.51	1/36	1/36									
2	-2.90	2.60	1.90	r r r r r r r r r r r r	腐植土黒褐		臭気と帯びる 非常に軟かい				2.15 ~2.46	0/31	0/31									
3				r			腐植物と混入				3.15 ~3.47	1/32	1/32									
4	-4.30	4.00	1.40	r	シルト混細砂	暗青灰	全般的にシルト多混入する				4.15 ~4.45	4/30	1	1	2							
5						暗茶褐	上部5.00m付近まで暗茶褐と呈する。				5.15 ~5.45	5/30	1	2	2							
6							6.00m付近まで粘土分非常に混入する				6.15 ~6.45	6/30	2	2	2							
7							含水量多し中硬				7.15 ~7.45	13/30	3	4	6							
8						茶褐	雲母片と混入する				8.15 ~8.45	13/30	4	4	5							
9							全般的に粘土多混入する				9.15 ~9.45	16/30	5	5	6							
10											10.15 ~10.45	20/30	6	7	7							
11							11.00m付近より暗茶褐色と呈する。貝殻片混入する。				11.15 ~11.45	15/30	5	5	5							
12	-12.75	12.45	9.45		粘土混細砂	暗茶褐					12.15 ~12.45	13/30	4	5	4							
13							13.00m付近多混入する				13.15 ~13.45	8/30	3	2	3							
14							14.00m貝殻片少量混入する				14.15 ~14.45	7/30	2	2	3							
15	-15.20	14.90	2.45		シルト	暗灰	14.50mより下部細砂少量混入する。				15.15 ~15.45	16/30	4	4	8							
16						暗灰	15.00m付近シルトと若干含む。貝殻片少量混入する。				16.15 ~16.45	32/30	9	12	12							
17							17.00m付近より黄褐色と呈する				17.15 ~17.45	35/30	7	12	16							
18							18.00m付近粒度間に若干の粘土分を含む。				18.15 ~18.45	27/30	7	8	12							
19							雲母片と混入する				19.15 ~19.45	27/30	7	9	11							
20							21.00m付近浮石と少量含む。				20.15 ~20.45	39/30	8	13	18							
21							雲母片を含む。				21.15 ~21.45	37/30	9	12	16							
22	-22.40	22.10	7.20		細砂	茶褐					22.15 ~22.45	45/30	14	14	17							
23							23.00m粒度不均一にて非常に密に締り締っている。				23.15 ~23.36	50/21	17	29	4/1							
24							24.00m付近貝殻片少量混入する。				24.15 ~24.36	50/21	18	28	4/1							
25							25.00m粒度均一にて極密である。				25.15 ~25.34	50/19	21	29								
26	-26.30	26.00	3.90		中砂	茶褐灰					26.15 ~26.37	50/22	18	26	6/2							
27							粉末状の貝殻片少量混入する。粒度均一にて非常に密に締っている。				27.15 ~27.29	50/14	34	16/4								
28							貝殻片少量混入				28.15 ~28.27	50/12	41	9/2								
29							粒度均一である。				29.15 ~29.29	50/14	32	18/4								
30	-30.55	30.25	4.25		細砂	暗茶褐					30.15 ~30.25	50/10	50/10									



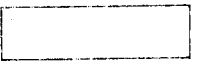
備考

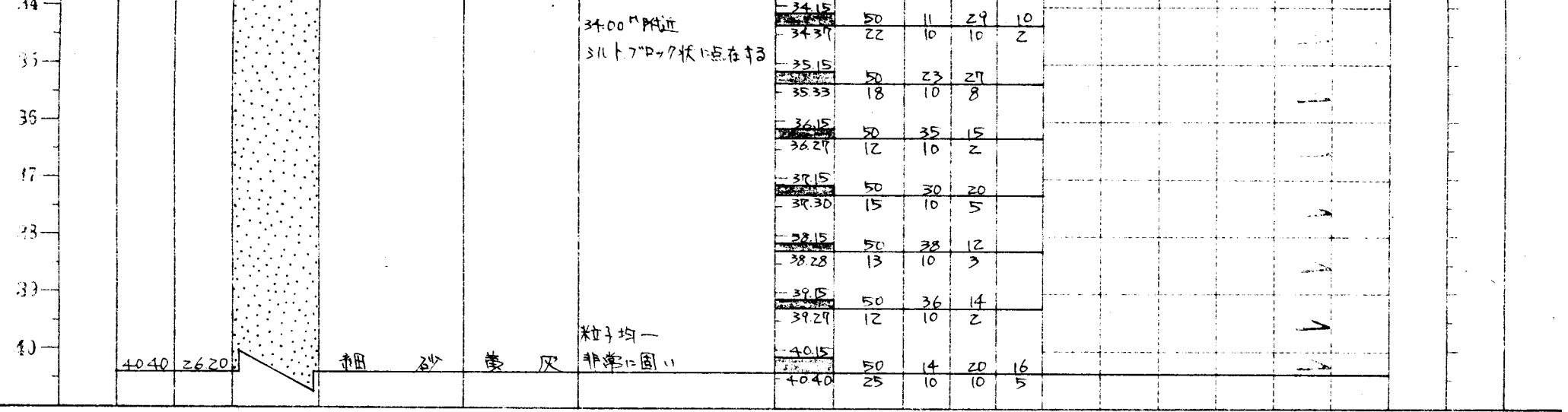


備考:

試料採取方法の記号

- デリソン型サンプラー
- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- ⊖ その他





備考:

試料採取方法の記号

- デニソン型サンプラー
- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- ⊗ その他



ル

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調査名・調査地点 千葉市立宮崎小学校 給食室増築地質調査委託 標 高 B.M. — 0.120 m 調査年月日 58年 5月 日～ 年 月 日

ボーリング孔：No. 1 孔内水位 G.L. — 0.35 m 調査担当者

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験						試 料 採 取										
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深 さ m	打撃回数	10cmごとの打撃回数			N 値						試料番号	深 さ m	採取方法		
									貫入量 cm	10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50	60				
1	-1.020	0.90	0.90	X	盛土	暗 褐	礫・レンガ片・コンクリート片等混入。砂分主体。	1.15	1/31	1/31	/	/											
2				r r r r			含水大。粘性大。上部、砂分多い。	1.46	1/36	1/36	/	/											
3	-3.270	3.15	2.25	r r r r	腐植土	黒 褐	下部、分解の進んだ腐植土	2.15	2/30	1/17	1/13	/											
4	-4.320	4.20	1.05	r	細砂	暗 灰	粒径不均一。腐植物・植物繊維点在。含水大。	2.51	3/31	1/15	1/6	/											
5				.		黄 褐	粒径不均一。雲母片混入。GL-6m付近、粘性土分混入。GL-7m付近より粒径均一化する。又雲母片多くなる。	3.15	14/30	2	5	7											
6				.		黄 灰		3.45	6/30	2	2	2											
7				.				4.15	7/30	2	2	3											
8				.				4.46	13/30	3	4	6											
9				.				5.15	18/30	4	6	8											
10	-10.120	10.00	5.80	o o	細砂	黄 褐	粒径均一。密に締まっている。貝殻は、細片状。含水中位。	5.15	39/30	10	14	15											
11				o o	貝殻混り			6.45	36/30	10	12	14											
12				o o	細砂	暗 黄 灰		7.15	34/30	9	11	14											
13	-13.020	12.90	2.90	o o			含水中位。均質なシルト層。下部砂分少量混入。	7.45	6/30	2	2	2											
14	-14.620	14.50	1.60	o o	シルト	暗 青 灰		8.15	5/30	1	2	2											
15				o o	砂混り	暗 青 灰	不規則に砂混入。腐植物片点在。	8.45	5/32	1/12	2	2											
16	-16.020	15.90	1.40	o o	シルト			9.15	50/15	33	17	5											
17				o o			粒径比較的均一。極めて密に締まっている。	9.45	50/16	30	20	6											
18				o o				10.15	50/14	32	18	4											
19				o o			含水小。	10.45	37/30	9	12	16											
20				o o				11.15	50/16	29	21	6											
21				o o			雲母片混入。	11.45	50/27	12	17	21											
22				o o				12.15	50/24	14	17	19											
23				o o		褐 灰	GL-23m付近より中粒砂混入。	12.45	50/17	20	30	7											
24				o o				13.15	50/16	24	26	6											
25				o o			GL-24m付近、貝殻層(厚10cm)を挟む。以深、貝殻細片を混入。	13.45	50/10	50	/	/											
26				o o				14.15	50/7	50	7	/											
27				o o				14.45	50/6	50	6	/											
28				o o				15.15	50/6	50	6	/											
29				o o				15.47	50/14	31	19	4											
30	-30.370	30.25		o o	細砂	茶 灰		16.15	50/10	50	/	/											

備 考：

試料採取方法の記号

- デニソン型サンフラー
- シンウォールサンフラー
- 貫入試験用サンフラー
- ⊕ フォイルサンフラー
- ⊕ その他
- ×



ボーリング柱状図

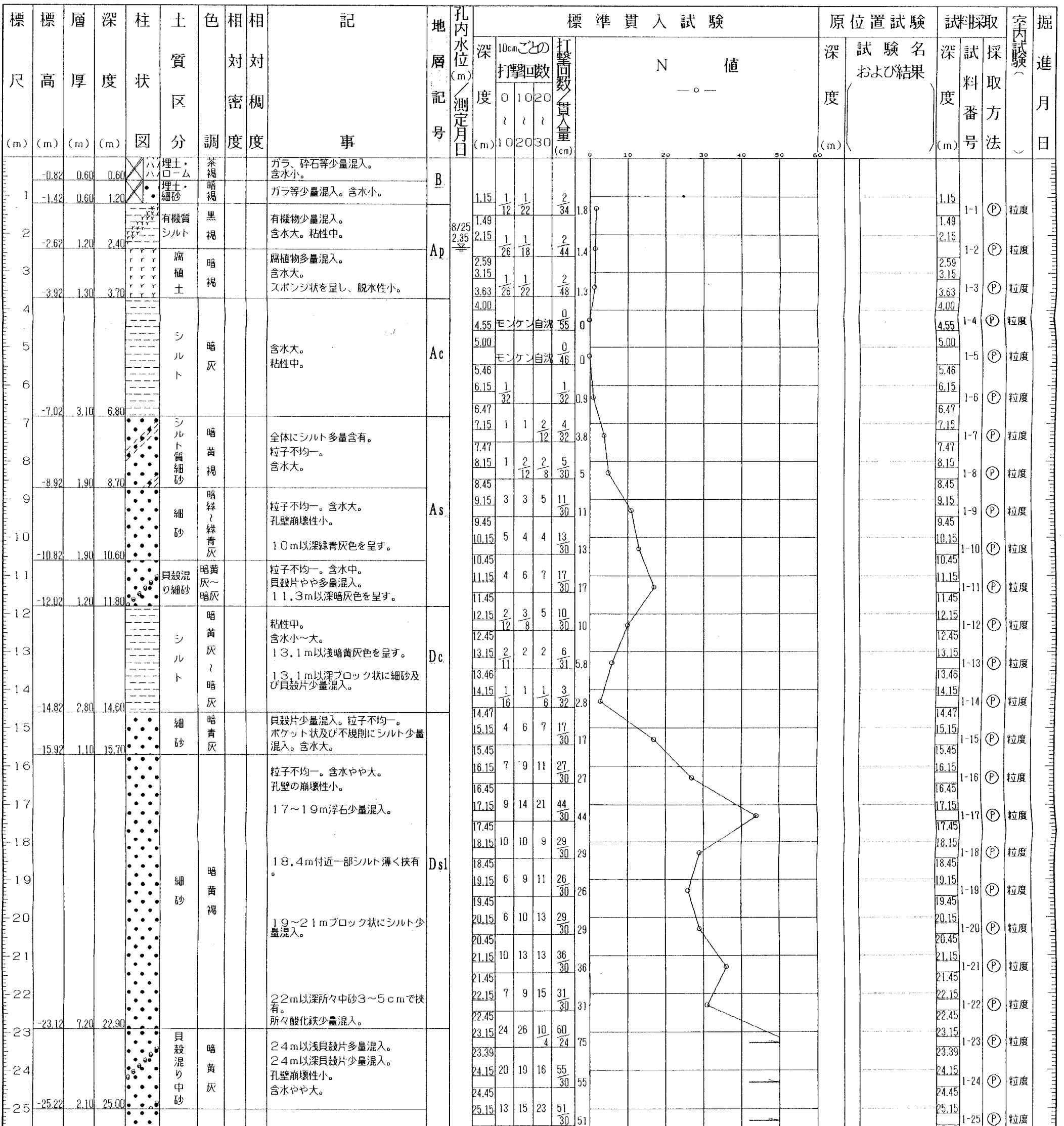
調査名 千葉市立宮崎小学校増築地質調査他業務委託

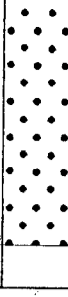
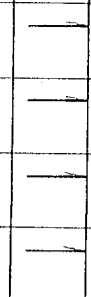

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1	調査位置	千葉市中央区宮崎2丁目3番13号			北緯	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課		調査期間	平成16年 8月25日～16年 8月26日		東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H -0.22m	角 180°上 90° 180°下	方 北 270°西 90°東 180°南	地盤勾配 鉛直 90°	使 用 機 種 試 錐 機 K R - 5 0	ハンマー 落下用具 ポンプ	自動落下
総掘進長	28.45m	度	向	エンジン	N S - 7 0	ポンプ	V - 5



26	-28.67	3.45	28.45		暗黄灰	細砂	Ds2	26m以浅貝殼片少量混入。	25.45	21	23	16 6	60 26	51	69.2		25.15	1-25	Ⓟ	粒度								
									26.15													26.15	1-26	Ⓟ	粒度			
									26.41																			
									27.15																	1-27	Ⓟ	粒度
									27.45																			
28.15	1-28	Ⓟ	粒度																									
28.45																												
28.45																												

No. 1

ボーリング柱状図

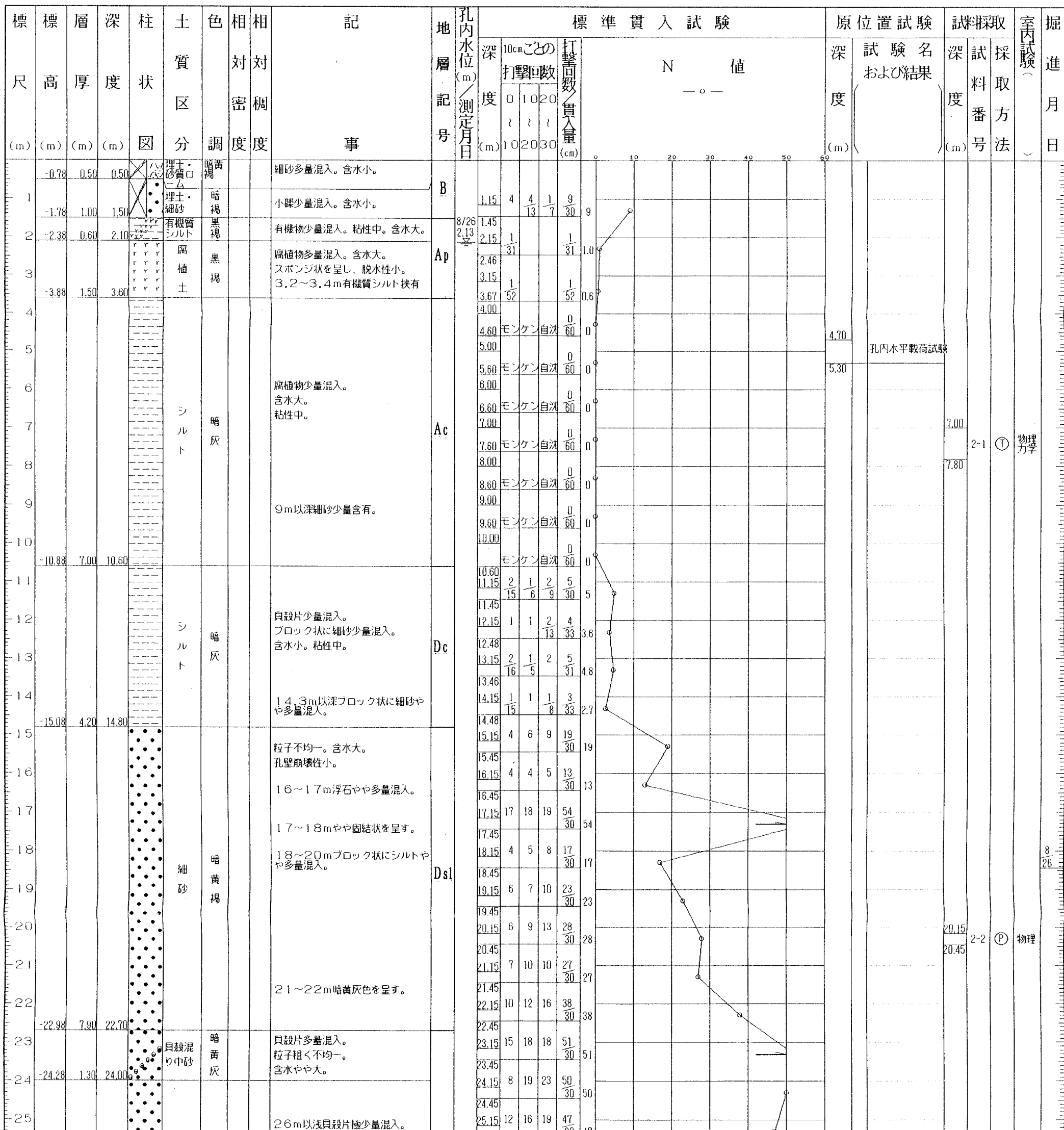
調査名 千葉市立宮崎小学校増築地質調査他業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N o . 2		調査位置	千葉市中央区宮崎2丁目3番13号			北緯	
発注機関	千葉市都市局建築部宮崎課			調査期間	平成16年 8月26日~16年 8月27日		東経	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コ ア		ボーリング責任者	
孔口標高	H -0.28m	角 180° 上 90° 下	方 北 270° 西 180° 南	地盤公配 鉛直 90° 水平 0°	使用機種 試錐機	K R - 5 0	ハンマー 落下用具	自動落下
総掘進長	32.34m				エンジン	N S - 7 0	ポンプ	V - 5



8/26

① 物理

② 物理

